

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-4-1
TEL. 045-476-0777
平成14年6月1日発行 季刊 第41号

www.kitamura.co.jp

カメラの
キタムラ®

Vol.41
SUMMER

特集 写真家 長友健二氏

被写体に愛情を注ぎ、気持ちを一つにする。
それが最高のシャッターチャンスを生み出すのです。

フォトワールド 十人十色 冴木 一馬氏

サンダー平山のまじめなポートレート講座 第3回

保存版 今年の夏は夕景や夜景にチャレンジ!

サーフボードが1個、白い砂浜にデザインされたように置いてありました。これはハワイオアフ島の裏側の海岸です。気に入っているスナップの1枚です。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：35~70mm F2.8
絞り：f11 シャッタースピード：1/250秒 フィルム：フジRDP III (撮影)長友健二氏



フォトライフ
四季
Vol.41
SUMMER
CONTENTS

ちよつと気を抜いたところで、撮られている意識がありません。何気ない仕草にこの人の美しさがあ
ります。順光で補助光はありません。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：80mm F2.8
絞り：f5.6 シャッタースピード：1/500秒
フィルム：フジRDP III (撮影)長友健二氏



2 **特集** 写真家 **長友健二氏**
被写体に愛情を
注ぎ、気持ちを一つにする。それが最高の
シャッターチャンスを生み出すのです。

- 10 長友健二先生の静物写真の世界
- 13 **サンダー平山のまじめなポートレート講座 第3回**
- 21 **保存版 今年の夏は夕景や夜景にチャレンジ!**
- 26 **フォトワールド十人十色**
テクニックを排して花火本来の姿をとらえる
花火写真家 **冴木一馬氏**
- 30 **全国写真クラブ紹介**
- 16 第9回 子ども&赤ちゃんすくすくフォトコンテスト 受賞作品誌上ミニ展覧会
- 18 第7回 ペット・動物フォトコンテスト入賞作品発表
- 28 **キタムラ フォトツアー紹介**
- 29 **キタムラ インターネットプリント**
- 32 **キタムラ インフォメーション**
- 32 **プレゼントが当たる! クロスワードパズル**

次ページ(P2・3)の写真解説
波に追いかけて走ってきます。走り方にも個性があって
面白いですね。順光です。

■カメラ：ニコンF4 レンズ：35~70mm F2.8 絞り：f8
シャッタースピード：1/500秒 フィルム：フジRDP III
(撮影)長友健二氏

21世紀α、 世界4大カメラ賞を独占。



α-7

写真愛好家を始め多くの方の圧倒的な支持をいただき、α-7はカメラグランプリ2001受賞という栄冠を獲得。さらに、α-7の欧州仕様、DYNAX7が「TIPA ヨーロッパ・ベスト一眼レフカメラ2001-2002」「ヨーロッパ・カメラ・オブ・ザ・イヤー2001-2002」という欧州のビッグタイトルに続き、「オーストラリア・カメラ・オブ・ザ・イヤー2001-2002」を受賞。世界でも最も権威のある4大カメラ賞を独占しました。本当に使いやすい一眼レフカメラとは何かを追求し、高機能と高性能、写真を撮る道具としての明かな操作性を、レンズ・システムまでを含めた軽量・コンパクトボディに高次元で融合させた、ミノルタのカメラ作りに対する姿勢が、世界でも認められたものと心より感謝いたします。ミノルタはこれからも、銀塩からデジタルまで、より多くのお客様にご満足いただける“essential”(必要不可欠)な商品の提供に全力を注いで参ります。

カメラグランプリ

「カメラグランプリ」は、カメラ記者クラブ(写真・カメラ雑誌のメカニズム担当記者、13誌16名)が主催し、カメラグランプリ実行委員会の運営のもと、毎年、一年間に日本国内で発売されたスチルカメラの中から最も優れたカメラ機種に対して贈られるものです。

EISA

「EISA」(EUROPEAN IMAGING AND SOUND ASSOCIATION)は欧州20カ国、40誌のカメラ・ビデオ専門誌の代表により構成されており、1982年以来、年一回、一眼レフカメラ、コンパクトカメラ、デジタルカメラ、フィルムなど20部門の年間最優秀製品を選定し授賞しています。

TIPA

「TIPA」(TECHNICAL IMAGE PRESS ASSOCIATION)は欧州13カ国、32誌のカメラ・ビデオ専門誌の代表により構成されており、1991年以来、年一回、写真・映像関連製品の年間最優秀製品を選定し授賞しています。

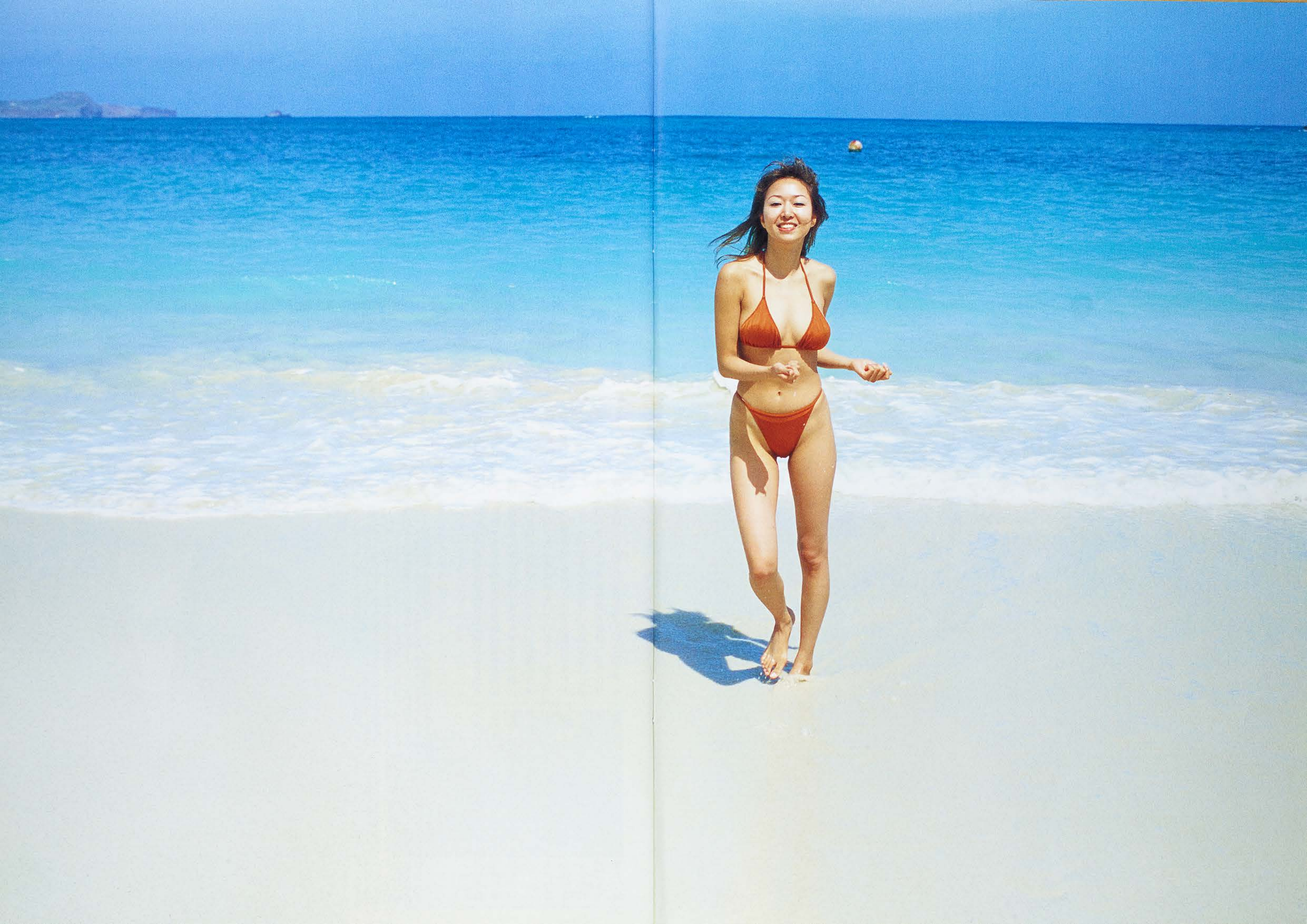
オーストラリア・カメラ・オブ・ザ・イヤー

「オーストラリア・カメラ・オブ・ザ・イヤー」は、the Horwitz Group(Pro Photo Magazine, Australian Digital Camera, Australian Camera, Gear)の編集スタッフと外部の評論家により、年一回、すべての写真製品を対象に選定し授賞しています。

希望小売価格(税別) α-7・AFズーム24-105mmF3.5-4.5(D)付 ¥185,000
α-7ボディ ¥125,000 / AFズーム24-105mmF3.5-4.5(D) ¥60,000

■α-7のホームページ <http://www.minolta.co.jp/japan/camera> ■α-7のカタログ請求先(住所・氏名・年齢・機種名記入) 〒108-8608 東京都港区高輪2-19-13 NS高輪ビル ミノルタ株式会社 宣伝課 フォトライフ四季係
■お客様ご案内窓口(弊社製品に関する各種お問い合わせのご案内) (土・日・祝日定休) 03-5351-9410 (土・日・祝日定休) 03-5351-9410 (土・日・祝日定休) 03-3356-6303です。
■お見積りご希望などをお受けする窓口です。 ☎0120-162414 ☎03-5423-7589 9:30~17:30(土・日・祝日定休) 市外通話料OK 市内通話料金でご利用いただけます





被写体に愛情を注ぎ、気持ちを一つにする。 それが最高のシャッターチャンスを生み出すのです。

読売新聞が発行している「Yomiuri Weekly」という週刊誌には、毎号グラビアに女性が取り上げられています。このページを飾っているのが今回紹介する長友健二先生の写真です。写真ばかりではありません。先生はこのページで取材する女性の人選から、ディレクションや文章まで、すべてを一任されているのです。まさに先生のページと言ってもよいでしょう。その雑誌の顔とも言えるグラビアページを全面的に任せられるほど、絶大な信頼を得ている長友先生とは、いったいどのような方なのでしょう。今回はその多才な長友先生に取材をさせていただき、先生の愛情溢れる写真のお話をうかがいました。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて長友先生の作品です。



ながとも、けんじ／宮崎県延岡市生まれ。1963年出版社の編集者を経てフリーランス写真家となり、長友事務所を設立。コマシヤルフィルム、ビデオの企画、演出、撮影など、あらゆる映像に挑み、スタイル写真ではポスター、カレンダー、カタログから雑誌のグラビアまで守備範囲は広い。1991年から旭化成イメージガールポスター、コマシヤルフィルムの撮影を担当。スタイルではアサヒビールのファーストレイポスター、スーパードライキャンペーンポスターの秋編を担当。週刊誌「サンデー毎日」(毎日新聞社発行)で「平成の日本人像」の文と写真を3年半連載した。「長友健二のポートレート撮影技法100」(ロシアンレイト)万華鏡(以上スコラ社刊)「MIDNIGHT」をはじめ著書多数。現在は「Yomiuri Weekly」読売新聞社発行に「美女最前線・CMの主役たち」を連載中。自動車雑誌「ベストカー」(三栄社発行)の表紙を25年間撮っている。

突然のアクシデントが写真家になるきっかけになりました。

先生は、どのようなきっかけで写真家を目指ようになったのですか？

私は最初は編集がやりたかったのです。九州から東京に出てきて、知り合いのつてを頼って出版社に入りました。その出

版社では月刊誌も発行しておりまして、そのグラビアページでは毎回著名な方に取材をお願いして、カメラマンと一緒に取材に出かけていたのです。何度かカメラマンと一緒に出かけていると、なかなかカメラマンという仕事も面白そうだなと思いはじめまして(笑)、それで会社にあったローライフレックスを持って、自分も脇から撮らせてもらっていたのです。

プロの写真家を目指すようになった直接のきっかけは、ある大女優を映画の撮影所に取材に行ったときのことです。いつまでたっても待ち合わせの場所にカメラマンが来なかったのです。大女優は待ってましたし、会社に電話をしてもカメラマンからの連絡は入っていないと言っていました。すると編集長が、君はもう長いことカメラマンに付いて取材してい

るのだから、写真ぐらい撮れるだろうと言うのです(笑)。相手は今をときめく大女優でしょ？ 私では駄目ですよ、と言っていると、とにかく何か撮ってこいと言われました(笑)。仕方がないので自分で撮ることにしたのです。

しかし撮るにしても、私一人しかいなかったのライティングができません。そこで誰か手伝っていただけるといいませんか？と訊ねると、その女優の方が撮影所の若い男の人に声をかけてくれて、手伝っていただくことになったのです。その方が、たまたま映画の照明のライトマンだったので、幸運でした。

そうやって撮った写真を編集長に見せると、いい出来なので使えと言います。それが私の写真家としてのデビューになったのです(笑)。

そんなことがあって以来、これなら私も写真家としてやっていけるという変な自信がついていきました(笑)、それから小さなカットなどは、私が撮らせてもらえるようになったのです。

スターのポートレート
を撮りだしたのも、
アクシデントがきっかけだったのです。

今でも先生は週刊誌のグラビアで活躍されておられます。

照りつける太陽、波の音も気持ちいい。ロングにきれいな海も入れ込んでいきました。広がりを出しました。
■カメラ：ニコンF4
レンズ：35～70mm
F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/250秒 フィルム：フジRDP III



この車はクラシックカーとして出品されたものではありません。ニュージーランドの人たちは物を大切にすることで有名で、この車も買い物などに使われている現役の車です。私も車に乗って一緒に走りながら撮りました。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：35～70mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/250秒 フィルム：フジRDP III



高い壁の上にハイビスカスの花と車輪が飾ってあって、ちょっと面白い光景です。この写真では広いイメージがでていませんが、これはレンズでここだけ切り取ったためです。グリーンと赤と白のコントラストです。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：80～200mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/125秒 フィルム：フジRDP III

先生はスターのポートレートを多く撮られています、どのような事情でスターを撮るようになったのですか？

ヨットで遭難したことがきっかけです(笑)。もともと私はドキュメントが好きだったので、ドキュメントは出版社に持っていてもなかなか採用されないのです。料金も安かったですし、フィルム代や現像代など取材費の方がかかってしまっ、年中赤字でした。企画が採用されなければ、一切の費用は自己負担でしたからね。

そんな貧乏暮らしをしていたある日、



アメリカのボストンです。アメリカの女性たちは出勤するときはスニーカーを履いています。会社ではきちっと靴を履いて仕事に励むそうです。洋服とスニーカーのアンバランスが面白いですね。
■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：45mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/125秒
フィルム：フジRDP III

友人がヨットで南太平洋のタヒチへ行つて、写真を撮ってこないかと誘ってくれたのです。即決で行くことに決めました。ところが航海をはじめて三日か四日たった頃、台風に遭遇して乗っていたヨットが遭難してしまつたのです。波が来るたびにヨットはギシギシいうし、水は入ってくるし、怖かつたですよ。緊急信号を発信したのですが、ラジオを聞いていても遭難のニュースが流れないのです。電波が届いていないんじゃないかと心配になりました。夜中のニュースでやっと私たちのヨットが遭難したニュースが流れて、うれしかったですね。これで助

アメリカの田舎の駅で、新婚さんでしょうか。駅舎をバックに長いリモコンをつけて2人で記念写真を撮っているところ。果物やお菓子がいっぱいのカゴと、いっぱい笑顔を見て、「お幸せにね。」と一枚撮らせていただきました。
■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：45mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/125秒
フィルム：フジRDP III



かったというので、みんなでラーメンを作って祝杯をあげたのです(笑)。ところが夜が明けても、誰も助けに来ない。二日目になっても、まだ来ない。船も一隻も通りかからないのです。夕方になって、ようやく捜索の飛行機が見つけてくれました。巡視船が助けに来てくれました。

香港の水上生活者の舟です。我々日本人から見ると住民票はどうなっているのだろうか、と気になります。泊まったホテルから撮ったもので、生きることへの力強さを感じました。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：80~200mm F2.8 絞り：f11 シャッタースピード：1/125秒
フィルム：フジRDP III



翌朝になったら新聞社の飛行機が、巡視艇に曳かれている私たちのヨットの上を飛んでまして、その日の新聞の夕刊に私たちの写真が一齐に載ってしまったのです。「挫折した曳航」とかいいうタイトルをつけられましたね(笑)。

そうしたら、それを見ていた当時の渡辺プロの宣伝部長から電話をいただいたのです。しょうがないから、うちのタレントを撮らせてやるよと言う(笑)。私は華やかな世界に憧れていましたから、すぐに受けました。当時の渡辺プロには、きら星のごとくスターがいりましたから、

そこでスターのポートレートから、デビューする新人のレコードのジャケットまで、すべて私が撮るようになりました。

スターに撮らされているということに気づいて、自分のポートレートを目指すようになりました。

スターを撮影するときと、通常の人物を撮影するときとは、何か違いがあるのでしょうか？

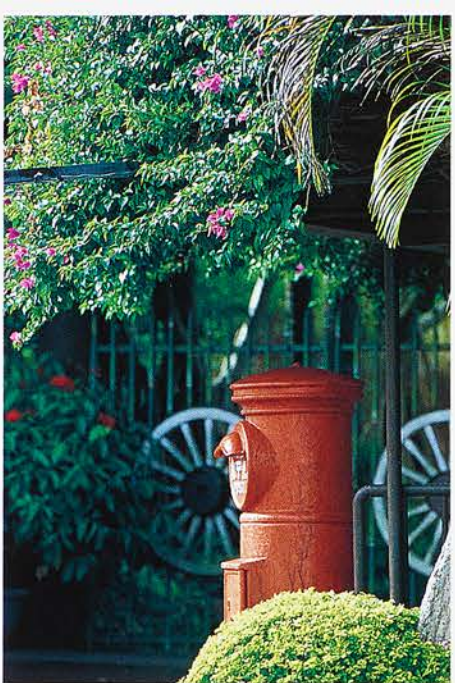
スターは自分の美しさや格好良さを知っていますから、撮るときでも、こちらから注文をつける必要がないのです。で

自然な笑顔を誘い出すのが大人の知恵です。

先生の作品の中の女性は、みんな素敵な笑顔をを見せてくれます。こうした笑顔を撮りたいと思った場合は、どのようにコミュニケーションをとれば良いのですか？

笑いなさいと言っては駄目です。コミュニケーションをとっていく中で、どう

昔ながらの郵便ポスト。沖縄の植物公園の中にあります。花があつて、車輪がある、けっこう面白いところでした。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：80~200mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/125秒
フィルム：フジRDP III



すから当初は、私はただ彼らの前でシャッターを押しているだけだったので、何年かして、そのことに気がつきました。これはスターを撮っているのではなく、私がスターに撮らされているのじゃないか。もっと私の個性を出して、長友健二が撮ったと思ってもらえる写真、「自分の写真」にしなければならぬのではないかと、そう思うようになったのです。欲が出てきたんですね。それから撮影のときにスターの方たちに注文をつけるようになりました。

それから先生のポートレート写真が確立されていくわけですが、先生が考えるポートレート写真のコツというのを教えてくださいませんか？

被写体と気持ちをつなげるのが大切です。そのためにはコミュニケーション

ンが必要ですが、この被写体とのコミュニケーションというものは、なにもポートレートに限ったことではありません。私の友人に三十年も富士山を撮り続けている人がいます。その彼が、あるとき富士山が撮れなくなったと言ってきたことがありました。美しい富士山の写真が撮れる気がしなくなったらしいのです。それで私は、富士山を撮る前に、毎日富士山にあいさつをしているかい、と訊ねたのです。撮る前に「ああ富士山、きょうはとてもいい顔をしていますよ、また撮らせてもらいにきましてよ」と一言かけてみてはどうか。そうしたら富士山だって、あなたの方を振り返って笑顔をを見せてくれるかもしれないよ、とアドバイスをしたのです。するとしばらくして、その

ひよっと横を向いてもらった、体の曲線がとてもきれいでした。バックは白い波です。
■カメラ：ニコンF4 レンズ：80~200mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/500秒
フィルム：フジRDP III



被写体とのコミュニケーションが大切なことは、ポートレートに限ったことではありません。



写真集のための作品です。応募できた女の子でこれからタレントになる人です。水際の砂の上で横になっているところに、海水がどーっと寄ってきました。ひやりっと思鳴をあげているところがす。演出ではありません。

■カメラ：ニコンF4 レンズ：80mm F2.8 絞り：f5.6
シャッタースピード：1/250秒 フィルム：フジRDP III

いうことを言えば相手が笑ってくれるのか、その笑顔のタイミングを見つけたし、相手から自然な笑いを誘い出します。それを見つけたのは大人の知恵です。

私は被写体に無理な注文はつけません。最初にこちらの撮影意図を相手に伝えて、後はたとえば「その動きはいいね」

とか「こっちの方がいいね」とか言いながら、コミュニケーションを取っていくわけです。「今朝は何を食べたの?」とか、相手が学生であれば「勉強は何が好きなの?」といった、他愛のないことでいいのです。そういう、何でもないことをたくさん聞くことで、相手が私を理解してくれます。また、相手の返してくれる言葉の端々から、その子の生活環境や背景を把握していきます。



これはある酒造所のカレンダー用に撮ったものです。きれいな人ですがノーマルではなく、2.5倍の露出をかけています。メイクさんが頑張ってまつ毛をばっちりつけて、ちょっと古い感じを出しました。扇風機で風を送っています。

■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：200mm F2.8 絞り：f11 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジRAP100 ストロボ：1600W 8灯使用

ただの笑顔ではなく、自然な笑顔を誘い出すためにコミュニケーションを重ねていくわけですね?

そうですね。笑顔は最高のお化粧なのです。どんなに美しい服を着ても、どんなに美しい化粧をしても、その子が心を開いてくれた最高の笑顔にはかなわないのです。そうした笑顔には自然と優しさが出てきます。私は被写体の持っている内なるものが、全身から溢れてくるのを

撮りたいのです。

そのために、いつも楽しい撮影を心がけています。写真というのは撮る側も撮られる側も、楽しくなければいけません。撮影が楽しければ、相手は伸びやかな気持ちになってくれます。ああ、きょう何か嫌なことがあったのかなあと感じられたときでも、別な話にもって行って、せめて私のカメラの前では、ハッラツとしてもらいたいと願っています。そういう気持ちに相手を誘ってゆくコミュニケーションがとれることも、大人の知恵ですね。

誉められようと思わずに、自由に自分の写真を撮ってほしい。

先生の方から、アマチュアの読者にアドバイスがいただけますでしょうか?

誰かに誉められようと思わずに、もっと自由に撮ってほしいですね。写真には四つの楽しみがあると思うのです。一つ目は撮る楽しみ。二つ目は撮った写真を現像に出している間の、期待と不安の楽しみ。三つ目は仕上がった写真を見て、喜んだり、がっかりしたりする楽しみ。四つ目が、それを仲間に見せる楽しみ。

その四つ目の見せたときの楽しみなのですが、誰でも誉められれば気持ちいいですから、つつい誉められる写真を撮るろうと思ってしまう。しかし、私は百人

が見たら百通りの批評が出てしまう写真があってもいいと思うのです。百通りもあるのですから、中にはその写真をけなす方だっているでしょう。でも、百通りの批評ができるということは、その写真がそれだけ豊富な情報量を持っているということ。そんなに多くの情報量がある写真を撮ったのですから、これは決して恥じることではない。むしろ、そうした写真を撮ることの方が難しいですから、けなされることを恐れずに、もっと自由な発想で写真を撮ってほしいですね。

先生の今後の活動予定を教えてくださいませんか?

8月29日から9月5日まで、アマチュアと一緒にロシアへ撮影旅行に行きます。これは「日本フェスティバル・イン・モ

ハワイで一軒家を借りました。とても豪華で自然光がいっぱい射し込んでいました。5人のモデルに椅子の上で遊んでもらって上から撮ったものです。最初は大型のストロボを使用しましたが、きれいに写りすぎてしまい、結局自然光で撮りました。

■カメラ：ニコンF4 レンズ：20~35mm F2.8 絞り：f8
シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジRDP III



最後になりましたが、カメラのキタムラに思うこと、ご希望などがございましたら、教えてください。

商品の品数を多く揃えるということは、とても大事なことです。お客さんはキタムラならあるだろうと思って足を運んでいるわけですから、その商品は置いていませんとか、取り扱っていませんと言ってしまうと、その期待を裏切らないようにしたいですね。

また、店員の皆さんにお客さんの名前を覚えてほしい。誰でも名前を覚えてもらえるとうれしいものです。ただ「お客様」と言われるよりも、「〇〇さん」と声を掛けてもらった方が、ずっと親近感が湧きますから。

お忙しい中、ありがとうございます。



魅力的な顔をしてくれた子でした。太陽を受けてレフ板が1枚入っています。何枚か撮った内の1枚です。

■カメラ：ニコンF4
レンズ：80~200mm F2.8 絞り：f5.6
シャッタースピード：1/250秒 フィルム：フジRDP III



にんじんとグリーンピースの入った缶詰をきれいに開けて上から撮ったものです。ラベルがはっきり見えてもいけないので、破っています。破るにしても私なりの方法で形を作りました。にんじんのきれいなのを添えました。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：150mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジRAP100 ストロボ1灯



バックを黒にして花の赤とローソクの灯りが出るように露出を決めています。ファインダーを見ながら左下のローソクの位置を決めました。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：150mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/15秒 フィルム：フジRAP100

プレゼント用の花をアレンジしてもらい、車のボンネットに置いて撮ったものです。自然光でレフ板で照明しました。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：150mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/125秒 フィルム：フジRAP100



これはPR誌の表紙用の写真です。花をテーマにシリーズ化しておりました。これはクリスマス用に撮ったものです。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：80mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジRAP100 ストロボ1灯



生タマゴです。底の浅い入れものにグリーン色の薄い紙をしいて、100個以上のタマゴをていねいに積み上げました。3種類のタマゴです。レフ板使用。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：150mm F2.8 絞り：f11 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジRAP100 ストロボ1灯



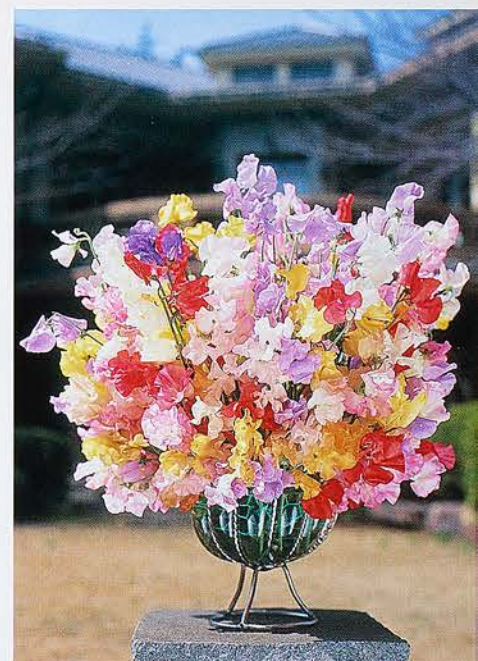
同じPR誌でテーマを食材にしたので、ブドウを置くだけでなく、ボトルを右に置き、原材料のブドウをグラスに入れてイメージしました。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：80mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジRAP100 ストロボ1灯



小田原港が見えるちょっと高台に、籠に入れた花を自然光でレフ板を当てて撮ったものです。この日は曇り日、空が白くなってしまい、海面もそれが映って白くなりましたが、曇り気は出たかと思えます。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：80mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/125秒 フィルム：フジRAP100



お正月用に撮ったものです。これは室内ですが被写体のバックは窓際で、オーバー気味になるように被写体との差を2段ぐらいに違えています。主光源はストロボで弱く当てています。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：200mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジRAP100



このシリーズは出来ればオープンで撮影することにしていましたので、ローマ大使館の裏庭で撮ったものです。バックの建物と花の位置はファインダーを見ながら決めました。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：80mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/250秒 フィルム：フジRAP100

長友健二先生の静物写真の世界

長友先生は若い頃、やかにライトをあてて独学でライティングの勉強をされたそうです。そんなエピソードを持つ先生の写真の原点は、ライティングを活かした静物写真なかもしれません。ここでは先生が光をコントロールしながらじっくりと撮影された静物写真をお借りして、ミニギャラリーとして公開させていただくことにしました。様々な形で写真と関わり、優れた作品を発表し続けている先生の、新しい一面をお伝えできれば幸いです。

形のいいピーマンやアスパラガスを求めて都内の高級食材店に走りました。色のバランスを見ながらアングルを決めました。バック紙もグリーン色の薄い色にしました。ストロボを左上から当て、レフ板で右側から受けています。
 ■カメラ：マミヤ645プロ レンズ：80mm F2.8 絞り：f16 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：フジRAP100





ポートレートの露出の難しさは背景の明るさの問題、そしてモデルが着ている洋服の問題などが露出の難しさの原因となる。カメラ内蔵の露出計では、状況によって異なるそれらの要素を簡単には処理できないのだ。
■カメラ: コンタックスAX
■レンズ: プラナー85mm
F1.2 絞り:F2 シャッター
■スピード: 1/125秒

ポートレートをウマク撮る秘訣。まずモデルのよさ。表情を上手に捕まえること。魅力的なポーズ。など色々な要素が

理想的なポートレートの露出は入射式露出計で計る

あるが、基本的にそういった部分はモデル自体の才能による部分も大きい。つまり乱暴にいつてしまえばいいモデルさえ見つければ、簡単にいい写真になる。そういうのも間違いではないのだ。じゃあいいモデルさえ見つければ、いい写真が撮れるのかというとそうでもないのだ。例えば同じ女優なりタレントなりの写真をいっばい集めてみる。自分が気に入っている女優がいい。変態といわれてもストーカーといわれてもおかしくないぐらいに集めてみると、いいと思う写真とヘタクソだと感じる写真がある。必ずあるはずだ。

もちろん女優だって人間だから、機嫌のいい日もあれば、調子が乗らない日もある。そういった差はあるモノの、大女優といわれる人ほどそういったコンディションの違いは少ないはず。そう考えると魅力が無い写真はカメラマンの腕の差ということになる。

メラマンの腕の差というのは圧倒的に存在するのだ。いい被写体すなわち魅力的なモデルを見つけたすというのには、多分に運の問題もあるが、基本的な撮影技術を磨いておかないと、いい被写体と出会っても、上手に撮ることは出来ない。ではポートレートの基本技術とは何かというと、きっちりピントを合わせるということ、いい光を選び、いい露出で撮ることなのだ。このいい光というのはいいモデルを捜すということと同じぐらい運の問題もあるが、その日の天気によってどこで撮ればいい光を見つけれられるかというの、ある意味でカメラマンの腕の問題なのだ。

まじめな
ポーター平山の
ポートレート講座 第3回



サンダー ひらやま / 1956年5月14日、千葉県市川市八幡神社の大銀杏の木の下で生まれる。日本大学文理学部物理学科自主卒業後、日本写真芸術専門学校発展的除籍。コマーシャルカメラマン、ファッションカメラマンなどの助手を経験した後にテレビ屋もかじる。つまり助手経験めっちゃくちゃ豊富。そしていつのまにかサンダー平山となる。著書とって多数。

Nikon

かわいっ！を撮ろう。
 カワイイッ！で撮ろう。

えっ、これが一眼レフ!? と驚くほどの小ささ、軽さ、簡単さ。いつでも持っていなくなるこの軽快感が、シャッターチャンスを増やしてくれる。だって、撮りたいと思ったそのときが、いちばんかわいい瞬間だから。

新製品

【超小型・超軽量一眼レフ】

- みんなの手にジャストフィットする、幅約129mm。
- かる〜く持ち歩ける、重さ約360g。(ボディのみ・電池別)
- ダイヤルで選べるオートモード&5種類のイメージプログラム。
- 画面を幅広くカバーする3点ワイドフォーカスエリア。
- 明るさに合わせて自動で発光、内蔵スピードライト。
- 暗闇でもピント合わせがラクにできるAF補助光付き。
- 撮影に必要な情報がひと目でわかる大型の液晶表示。

さらに ●3D-5分割マルチパターン測光 ●4つの露出モード ●露出補正/オートブラケティング ●視度調節機構、などの本格機能も満載。

小さな小さな高性能
Nikon U.S

希望小売価格(税別)
 ボディ本体(ストラップ・アイピースキャップDK-5付)・・・¥50,000
 AFスームニッコール28~80mmF3.3~5.6G付・・・¥75,000

Nikon 「Nikon Imaging」は、ニコン情報満載のホームページです。 <http://www.nikon-image.com/>

■カタログをご用意しています。機種名をご明記の上、100-8693東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室 宛ご請求ください。
 株式会社 **ニコン** 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3(富士ビル) ■製品に関するお問い合わせは「ニコンカスタマーサポートセンター」まで。電話 0570-02-8000 FAX 03-5977-7499

京セラ株式会社

作品づくりの楽しさが加速する。

圧倒的な描写力を誇るカールツァイスT*レンズ。5つのフォーカスフレームを利用することで、美しいと感じた情景がそのまま作品となる対角5点測距。起動力と操作性に優れた小型ボディ。繊細な光のニュアンスを忠実に反映する3つの測光システムなど、レンズの魅力をも十分に発揮させ、作品づくりを楽しむための一眼レフカメラです。

AF/MFデュアルフォーカスマカニズム対応一眼レフカメラ
CONTAX NX

メーカー希望小売価格(税別)
 NXボディ: ¥94,000 NXDボディ: ¥103,000

●商品のお問い合わせは お客様相談室へ ツーカーTEL.0077-78-0500
 ●資料請求 〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9 光学機器事業本部
 ◎京セラインターネットホームページ <http://www.kyocera.co.jp/>

CONTAX
 10 Years

顔の半分には直射光が当たり、半分は影になる条件である。露出の判断が難しい所だが、ここでは影の露出を測って、明るい感じに撮影した。ポートレートの露出をきちんとするには、まず入射式露出計を手に入れ、使い慣れることが肝心だ。

■カメラ：ペンタックスMZ-S レンズ：77mm F1.8 絞り：F2.8 シャッタースピード：1/250秒



**大人数が集まる撮影会では
スポットメーターが
オススメ**

入射式露出計というのは露出計の受光部に乳白色の半球(光球という)が付いている、反射式露出計とは異なりその場所で露出を測るようになっていて、つまり反射式のように離れて測るのではなく、露出計を被写体の位置、つまりモデルのいる場所(測ろうとする場所)で測るのだ。そのため逆光条件やモデルの洋服の色に左右されることもなく、正確に露出を計ることが出来る。ただ、モデルのいる場所で測らなければならないというのが大

きなネックで、撮影会などのように大勢の人が集まる場所ではきちんと測ることがやりにくいのだ。まあ、プロの場合はモデルと一対一で撮ることになるから、露出はじっくり測ることになるが、アマチュアの場合は出来るだけ少数の撮影会を狙うべしというのは、少数の撮影会のほうが露出もきちんとして測ることが出来るのだ。

入射式露出計はマメに被写体の位置までいって測らなければならないというネックはあるが、ポートレートを撮るにあたってはもともと信頼できる露出計なので、ほとんどのプロが使用している。このプロが使用しているということは、決してカッコつけというような意味ではなく、結局それが一番の方法であるということなのだ。

確かにプロのポートレートの撮り方とアマチュアの撮影会では条件がまるっきり違う。一人のモデルを取り囲んで何人もカメラマンが撮影するということはプロカメラマンにはあり得ないことだから、プロの方



スポットメーター(受光角1度)で顔を測り測光値にプラス2段して撮影した。スポットメーターは必ず補正しなければならない面倒さはあるが、カメラマンが多く集まる撮影会などでは実力を発揮する露出計だ。
■カメラ：ペンタックスMZ-S レンズ：77mm F1.8 絞り：F3.5 シャッタースピード：1/125秒

法をそのままマネをしてもいいとはいえないが、プロが知らない簡単な確実な方法というのはまず無いのだ。

そういった理由でポートレートにおける確実な露出測定方法は入射式露出計だが、大人数が集まる撮影会では、自分だけ近づいて露出を測るというわけにはかないので、撮影会ではスポットメーターがオススメだ。スポットメーターというカメラに内蔵されているスポット測光と誤解する人がいるが、スポット測光は、スポットメーターほど厳密性はなく、測光する範囲が広くシビアな測定には向かない。極めたい人は受光角1度のスポットメーターにチャレンジしたい。スポットメーターの使い



入射式露出計はモデルの顔の下当たりで測るのが基本。光球の角度や光の当たり具合によって、測定値は微妙に変わっていくので、自分なりの測り方を身につけることが肝心だ。

方は顔の一番明るいところを測って、プラス2段の露出を目安とするとい。スポットメーターの欠点は測る被写体の状況によって必ず露出補正をしなければならぬことだが、基本的に白いものを測ってプラス2段から2段半と覚えておけばポートレートはなんとかなるはずだ。

背景が明るい条件ではカメラの露出計は背景に引きずられて人物が暗くなりやすい。多分割測光ではそういった条件でもかなり補正されるようになってくるが、きちんと合わせるためには、入射式露出計で測るのが一番いいのだ。
■カメラ：ニコンF5 レンズ：Ai135mm F2 絞り：F2.8 シャッタースピード：1/250秒



出を測ることが出来るということは、カメラマンの基本技術として欠かせないことなのだ。ただきっちり露出を測るといものもけっこう難しい。いまは自動段階露出という便利な機構が付いていて、自動的に露出を変えながら撮ることが出来るから、風景のように変化しない景色だったら、いっぱい撮っておけばどれかは露出が当たる。しかし、ポートレートというのは被写体が動くモノだから、露出を変えながら撮っても、露出が合っていないでも露出が暗いというようなのがよく起きるのだ。結局ポートレートの場合はきちんと露出を測って、同じ露出で撮影し、表情やピントのいいものを選ぶという方法になる。もちろん究極のポートレートはたった一回のシャッターで仕上げるという方法もないではないが、それは超写真名人だけに可能な方法であって、大



【上】背景には暗い部分と明るい部分がある。カメラの露出計では悩む部分だが、入射式露出計では、人物に当たっている光だけを測るので迷わず測光する事が出来る。
■カメラ：コンタックスAX レンズ：プラナー85mm F1.2 絞り：F1.7 シャッタースピード：1/125秒



【右】背景はかなり明るい条件で、カメラの内蔵露出計では完全に人物が露出不足になってしまうところだが、入射式露出計で測ることによりきちんとした露出で撮影する事が出来た。
■カメラ：コンタックスAX レンズ：プラナー85mm F1.2 絞り：F2 シャッタースピード：1/125秒

いるじゃないか！と思う人が多いはずだ。確かにカメラには露出計が内蔵されている。また、多分割測光なる優秀な露出計も付いている。確かにネガカラーで撮影している分には、多分割測光でもけっこう露出が合うような気がする。ただしネガカ

メラに内蔵されてもそれが近づくたいというのが現実なのだ。でっ、理想的なポートレートの露出を得るためには、まず入射式の露出計を使うことが肝心なのだ。露出計は

ラーという前提が付いている。ネガカラーフィルムというのはプリントするとき調整するから、それほどきちんとした露出で撮らなくても、まあまあ見られるようにプリントできるのだ。

しかし、リバーサルフィルムを使うと、撮影した結果がダイレクトに現れるから、カメラの露出計のままではダメだということに気づくはずである。その理由は、カメラに内蔵されている露出計は基本的に反射式露出計であるから、逆光の影響や、モデルが着ている洋服の色に

露出が左右されやすいのだ。特にモデル撮影の場合は、光が直接顔にかかるような条件より、逆光気味の光で撮ることが多いから、入射式露出計で測ることが大切なのだ。

ここでは明るい感じに仕上げたかったので、モデルの左頬あたり(やや影の部分)で露出を測った。入射式露出計は光球の向きで露出が変わるので、露出計の位置がどこで計ればどういう露出になるのか把握するためには多くの経験が必要だ。
■カメラ：ペンタックスMZ-S レンズ：77mm F1.8 絞り：F2.4 シャッタースピード：1/125秒





作品募集!

元気なお子様たちのまぶしい笑顔をつるってご応募ください!

賞金・賞品総額

160万円

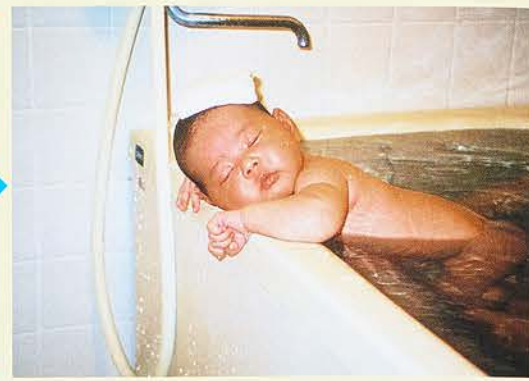
グランプリ	賞金10万円と楯	1名
最優秀賞	賞金5万円と楯	5名
優秀賞	賞金3万円と楯	10名
佳作	賞金1万円と楯	30名
入選	記念品(2千円)と楯	300名

募集期間

平成14年7月15日(月)~8月31日(土)
カメラのキタムラ店頭または事務局必着

※詳細は、7月中旬よりカメラのキタムラ店頭に設置されますポスター、または応募チラシをご覧ください。

優秀賞受賞「わが家で温泉気分」
小川幸子様(愛媛県)
お風呂で眠っちゃったんですね。かわいいなあ。早く出してあげないとほせちゃった。お顔が真赤なんですね。



優秀賞受賞「初めての美容室」
菅野 忍様(北海道)
私も小さい頃によく言われました。「髪の毛が目に入っちゃうから目をつぶってあげて」。表情がとてもかわいい。このお子さんはきっと美人になりますよ。



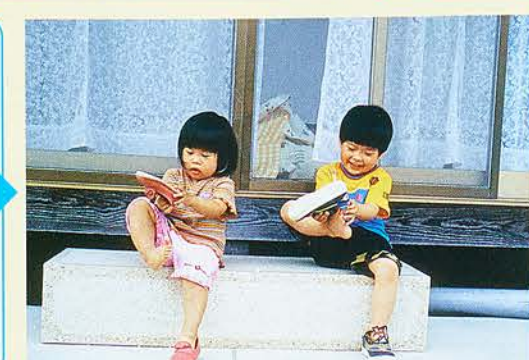
優秀賞受賞
「今日から僕はお兄ちゃん」
松井浩美様(東京都)
おかあさんのお腹に入っていた頃からこの日をずっと待っていたんですよ。とてうれしそう。今日からお兄ちゃんだ。ガンバレ!



佳作受賞
「着地失敗」牧野良信様(北海道)
うわっ、絶好のシャッターチャンス!もしかしらあお父さんは滑り終わったあとの楽しそうな表情を撮っていたのでは?思いがけない傑作ですね。



佳作受賞
「砂、はいっちゃったヨ〜!」
武田和裕様(鳥根県)
兄妹? お兄ちゃんに真似をしているのかな? それにしても見事に同じ格好をして、ほほえましていいですね。



最優秀賞受賞
「待つ」藤部 晃久様(宮城県)
かわい〜!「フンちゃん」待つ「笑」。まじっのお子さんは、フンちゃんといっしょに待つのが良いですね。



最優秀賞受賞「モーすべった姉」
柳澤理恵様(東京都)
弟さんはお姉さんが寝てもカメラに夢中。こんなにカメラ好きなんですから、大きくなったら、まじっといっしょに写真を撮ってくださいませ。

グランプリ受賞
「姉弟スライダ〜」井澤誠様(兵庫県)
スリルが楽しいお姉さんと、怖くてたまらない弟さんと。表情がよく出ていてとても楽しい作品です。でも、やさしいお姉さんですよ。ちゃんと弟さんを支えていますから。



カメラのキタムラ
第9回 子ども&赤ちゃん すくすくフォトコンテスト
受賞作品誌上 展覧会

毎年、夏に募集しております「カメラのキタムラ子ども&赤ちゃんすくすくフォトコンテスト」も、おかげをもちまして今回で10回を数えます。これも一重に皆様の厚いご支援があったことと、カメラのキタムラ一同、感謝の念にたえません。今後より一層、皆様に愛されるフォトコンテストを目指して、努力していく所存です。さて、今年もまた子どもたちの夏がやってきました。元気な子どもたちの笑い声がこだまする季節です。また、キタムラがその子どもたちの素敵な笑顔をとらえた、とっておきの一枚を募集する季節です。そこで作品を応募される皆様のために、前回で応募いただいた約1万1500点の中から、受賞作の一部を紹介させていただきます。いずれも思わすほえんでしまいう力作ばかりです。

前回の審査では沼田先生から「このコンテストは技術的な作品ばかりを評価しているわけではないですね。自分で楽しみながら、数多く撮るのが入賞への近道です」という言葉もいただきました。ときには皆さん子どもたちと一緒に、思いきり遊んでみませんか? お父さんやお母さんの楽しんでいる気持ちは、きっと子どもたちにも伝わって、最高の笑顔を見せてくれるはず。そんなフレッシュな笑顔がはじける一枚を、カメラのキタムラ社員一同、心よりお待ちしております。

※写真のコメントはキタムラの社員によるものです。



最優秀賞受賞
「力くらべ?」上岡郁子様(千葉県)
おてんばなお嬢ちゃんなのかな? 見ているこちらまで力が入ります(笑)。表情がとてもよく出ていますね。



最優秀賞受賞「明暗」瀧矢浩司様(三重県)
二人の表情がきれいに明暗を分けています。気をつけていないと見逃してしまいうようなシャッターチャンス。構図も決まっています。お見事。



最優秀賞受賞
「たすけて〜」佐藤昌幸様(福島県)
大変! 沈んじゃう! でも、とってもきれいな作品ですから、このお子さんが大きくなったら、お気に入りの一枚になるかも。

RICOH
銘機へ、さらに一步。
GRレンズの描写力を継承したGR1V

GR1Vの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用。4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとても便利な光る情報パネル。 ●逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備。 ●高精度7ゾーンバツピング方式マルチオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ絞り羽根 ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード:フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●遠景モード ●シングルAF(LV6以上中央重点側光)モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード ●オートブラケット機能(+0.5、0、-0.5) ●マニュアルISO感度設定 ●マニュアルフォーカスモード(5フォーカスポイント) ※★はGR1Siに追加された機能です。

(ボディカラー:ブラック/シルバー)
●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込)
GR1V……………¥98,000(税別)
GR1V-DATE……………¥108,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。
〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー カメラサービスセンター内
0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00
●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。

佳作 (25名) 賞金1万円と楯



入選 (300名) 記念品 (2千円相当) と楯

A comprehensive list of 300 names and their locations, categorized by region (e.g., 北海道, 東京都, 大阪府). Each entry includes the author's name and their hometown.

カメラのキタムラ 楽しい、かわいい、個性ショット大募集! ペット・動物ふれあい写真コンテスト 応募総数 約7,000点

入賞作品発表!!

総評: たくさんのご応募本当にありがとうございます。毎回いつも思うことですが、作品を絞り込んでいくと、当然漏れていく作品が多数出てきます。それを思うと、審査は本当に間違っていないのか、自問自答が約12時間の審査中に何回か脳裏をよぎります。



「私のお気に入り」 小林輝夫 (新潟県北蒲原郡) 寸評: この写真を見た瞬間に上位にいく作品だと思いました。猫や少女の表情、光線の具合、ピントの合わせ方、すべてにおいてグランプリに相応しい最高の作品です。

グランプリ (1名) 賞金10万円と楯

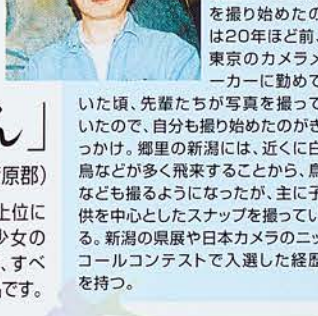
優秀賞 (10名) 賞金3万円と楯



審査員 増田勝正氏 1945年東京都出身。愛犬雑誌のカメラマンを経て現在フリーの動物カメラマン。



「波紋」 久保廣久 (福岡県飯塚市) リスザルが水を飲む瞬間を捉え、その瞬間の表情が目に飛び込んできて、心をとらえた。水しぶきも写り込んで、水の生き生きとした感じが伝わってきます。



「お兄ちゃんスキ」 間屋藤男 (福岡県久留米市) 子供と天と遊びが体となつている姿が、心をとらえた。瞬間をとらえた作者に敬意を表したいと思います。



「夏の日向垣」 進 (滋賀県栗東市) 「おもしろー」 大西智則 (静岡県湖西市) 「おもしろー」 大西智則 (静岡県湖西市) 「おもしろー」 大西智則 (静岡県湖西市)

最優秀賞 (5名) 賞金5万円と楯



「疾走」 柿原耕治 (福岡県北九州市) 馬を左端に置き、右側に人物を入れたことで、見事に馬と人物のバランスを取っています。動きがある、素晴らしい作品です。



「波紋」 久保廣久 (福岡県飯塚市) リスザルが水を飲む瞬間を捉え、その瞬間の表情が目に飛び込んできて、心をとらえた。水しぶきも写り込んで、水の生き生きとした感じが伝わってきます。



「お兄ちゃんスキ」 間屋藤男 (福岡県久留米市) 子供と天と遊びが体となつている姿が、心をとらえた。瞬間をとらえた作者に敬意を表したいと思います。



「夏の日向垣」 進 (滋賀県栗東市) 「おもしろー」 大西智則 (静岡県湖西市) 「おもしろー」 大西智則 (静岡県湖西市)



主催: カメラのキタムラ 監製: 富士写真フイルム株式会社

今年の夏は 夕景 や 夜景 に チャレンジ!

夕方の紫がかった美しい空、宵闇に泣いたようにまたたく街の明かり。夜の写真はロマンチックです。写真は光を撮る芸術ですが、夜景を撮影すると、このことを実感されると思います。ぜひ読者の皆さんも、今年の夏はロマンチックな夜景の撮影にチャレンジしてみてください。



夕景や夜景の撮影では昼間と違って強い陽光がありませんから、シャッタースピードを遅くする必要があります。そこで次の二つの機材が必要です。

- ① シャッタースピードを遅く設定できるカメラ
- ② カメラが動かないように固定する三脚

最近のカメラの中には「夜景モード」が付いている機種もありますが、このモードもシャッタースピードを遅くします

夕景や夜景を撮るにはコレが必要!

シャッタースピードはケース・バイ・ケース。たとえば都会は周囲がネオンなどで明るく照らされているので、シャッタースピードは比較的短めにしないと仕上がりが白っぽくなってしまいますし、逆に周囲が暗い山間部の山里などでは、シャッタースピードを遅めにしないと、思いの外寂しい写真になってしまいます。苦勞した分、思った通りの夜景が撮れたときの喜びは、ひとしお。写真ならではの満足感が得られることと思います。

状況に合わせてシャッタースピードを変えましょう!

当初はオートでかまいませんが、少し慣れてきたらマニュアルでシャッタースピードを設定してみましよう。その際、シャッタースピードを何段階か変えて何枚も撮っておくと、失敗も少なくて済みます。さらに長時間露光にチャレンジしたいと思ったら、レリーズを用意して、バルブで撮影しましょう。バルブは、時計を見ながらレリーズを押している間だけカメラのシャッターが開き続ける仕組みで、好きだけシャッタースピードを遅くすることができます。最近では、写真にあるような便利なリモートスイッチも市販されています。

段階を変えて何枚も撮って、おきまじょう!



■キャノン リモートスイッチ RS-60E3
全長：60cm
対応機種：EOS New Kiss Kiss III 55
メーカー希望小売価格 2,500円

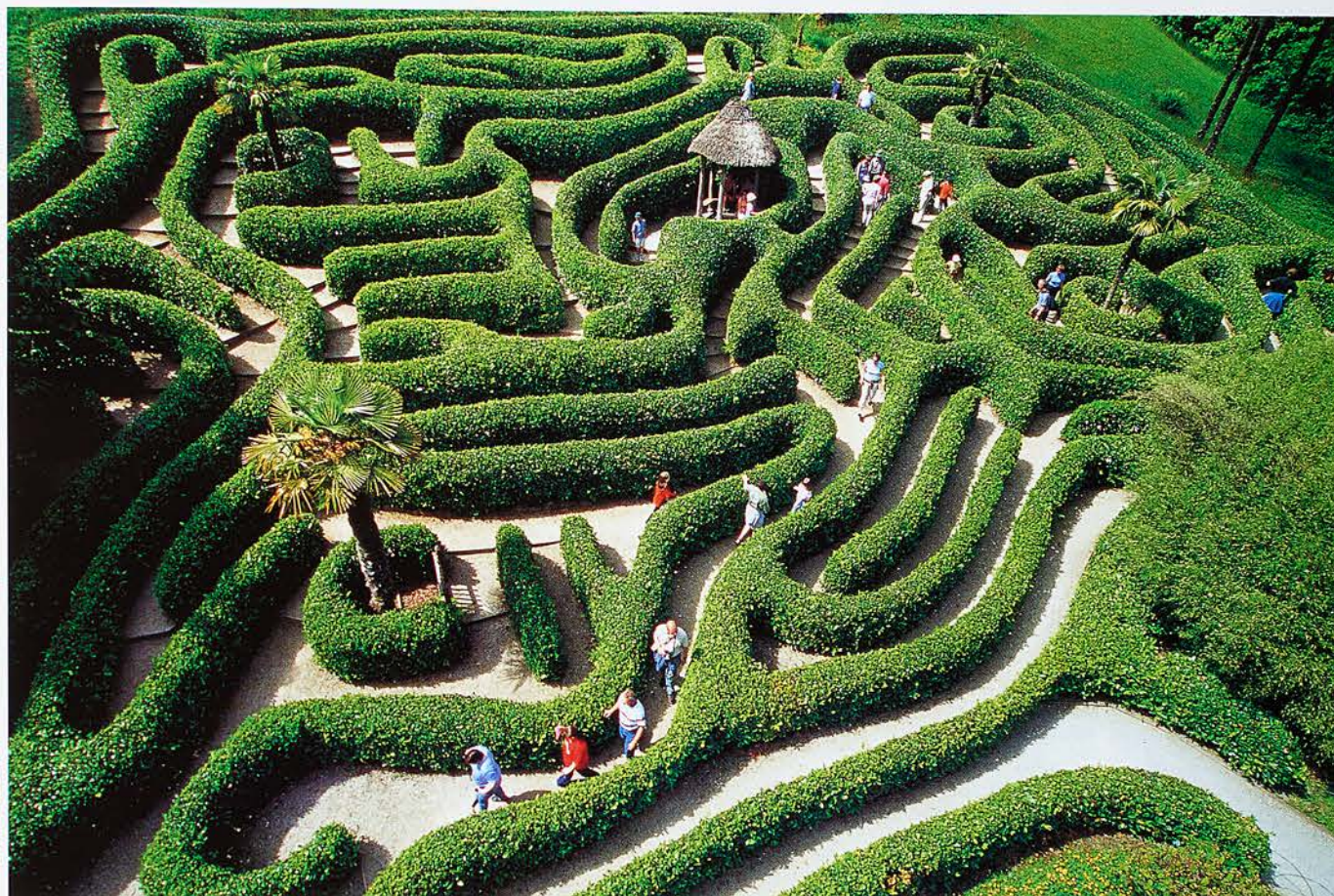
■ベルボン ネオ・カルマーニユ630
全高：1,780mm
縮長：710mm
地上最低高：245mm
質量：2.23kg
メーカー希望小売価格 82,000円

■スリック プロ 803 DX-SV
全高：1,625mm
縮長：635mm
地上最低高：300mm
質量：1.77kg
メーカー希望小売価格 66,300円



■ミノルタ リモートコードRC-1000S
全長：50cm
対応機種：α-7, Sweet, SweetS, 303s
メーカー希望小売価格 3,800円

※掲載の価格には消費税は含まれておりません。



©Photography by Jonathan Blair. Taken at the Glendurgan Garden, Cornwall, England. Courtesy of The National Trust.

OUR WORLD

景観という文化遺産を、写真で守り、伝えたい。英国・コーンウェルにて。Jonathan Blair / 1941年、米国・ペンシルバニア生まれ。ロチェスター工科大学に学び、芸術の学位を取得する。ナショナル・ジオグラフィック・マガジンに35年以上も寄稿。自然史写真、海中写真の分野でも活躍を続ける。撮影データ：シグマ15-30mm F3.5-4.5 EX DG ASPHERICAL、1/160秒、F11

ジョナサン・ブレアが世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。



NEW
●AF希望小売価格(税別)：89,000円、ケース付
シグマSA用、キヤノンEOS用、ニコン用、ミノルタ用、ペンタックス用

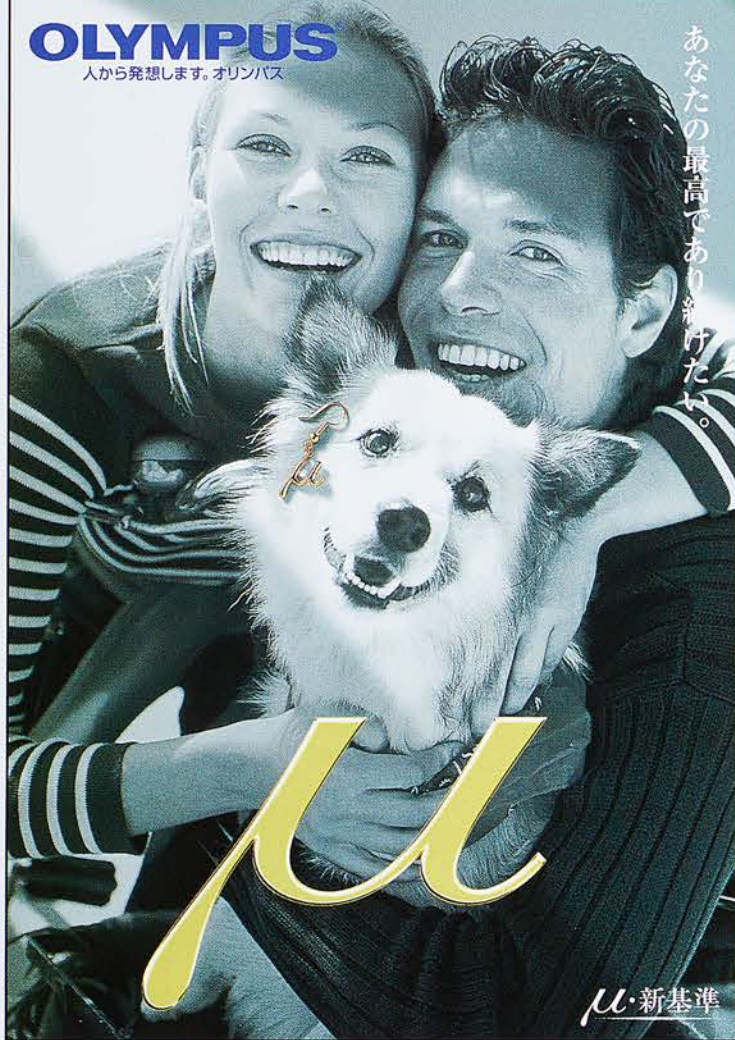
植木でつくられた迷路。子供も大人も、巨大なパズルに挑み、遊ぶ。その全景を捉えたのは、シグマが初めて登場させた、15mmからの超広角ズーム。最短撮影距離30cm。非球面レンズの採用で、ディストーションをはじめ各収差を良好に補正。DF (Dual Focus) システムの採用で、AF撮影時のホールディング性が向上。遮光効果にすぐれた固定花形フードを装備しています。

レンズ交換式デジタル一眼レフカメラにも対応。15mmからの、初めての超広角ズームレンズ。

SIGMA 15-30mm F3.5-4.5 EX DG ASPHERICAL

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都狛江市岩戸南2-3-15 tel. 03(3480)1431まで。シグマ ホームページアドレス <http://www.sigma-photo.co.jp>

あなたの最高であり続けた。



u 新基準

あの美しいミュ-に、
超高倍率170ミリズームを
搭載しました。



- エレガントなフォルムで迫力の170mmズーム。
- 高画質を約束、「EDレンズ」採用。
- 2つのオートフォーカス機構でシャープなピント。
- 「撮れた!」がわかるビジュアルファインダー搭載。
- 雪や水しぶきも安心の生活防水付。

美しさだけでも、機能だけでもない。

μ (mju.)-II 170vf

希望小売価格(税別) ¥50,000 (リモコン・ソフトケース・ストラップ付)



今年の夏は 夕景や夜景に
チャレンジ!

夏の夜の日本の主役、 花火にチャレンジ!

忘年熱海海上花火大会 ■カメラ:ペンタックス6×7 レンズ:タクマー75mm 絞り:f8 シャッタースピード:B(約2秒) フィルム:フジクロームベルビア 撮影地:静岡県熱海市 (撮影) 冨木一馬氏



夜空にパッと花開く打ち上げ花火は格別に美しい夏の風物詩です。誰でも一度は花火を撮ってみたいとお考えになったことがあるのでは? そこで今号のフォトワールドにもご登場いただいている、花火写真家・ハナピストの冨木先生の著書「日本の花火」(光村推古書院)の中から、花火の撮影方法を抜粋してご紹介させていただきます。

「フィルムはそれほど高感度フィルムである必要はない。ISO1000ぐらいのフィルムを用意し、絞りはf8くらいに設定する。ピントは無敵にする。花火撮影で重要なのは、タイミング。打ち上げ場所が近い場合はポツという音が聞こえるので、それを頼りにシャッターを開ける。遠くからの撮影では、発射音が聞こえないので、曲導(ヒュルヒュル昇つていく尾っぽ)を頼りにシャッターを開く。そして花火を1、2発写し込んだら切る。

スターメインなどたくさん花火を一度に写し込みたい場合は、絞りを調整する(画面が明るいほど絞り込む)。写し込む花火の数によって絞りを変えなければ、露出オーバーになってしまうので注意が必要だ。

私が撮影する際、最も気をつけていることは、とにかくカメラが揺れないようにすることだ。長時間露出するのだから、カメラが揺れるようなことがあつては台無しになってしまうからだ。風の影響を受けないような場所にカメラをセットしたり、人が歩くと揺れる橋の上などからの撮影は避けるなど、配慮が必要だ」

冨木先生の貴重なアドバイスを参考に、皆さんも今年はずいぶん花火の撮影にチャレンジしてみてください。

夕景・夜景の保存版はいかがでしたか? 宵闇の街には、昼間とは、まったく違ったフォトワールドが広がっています。今年の夏こそ、素敵な夜景の一枚を狙ってみてください。

PENTAX

この熟成は、あなたの写真を変える。

AFスーパーフィールドカメラ、ペンタックス645NII登場。

1984年に誕生したペンタックス645は、1997年の世界初*AFシステム搭載による645Nへの進化を経て、いまあらたに熟成領域へ。645NII、登場。数多くのプロやファンの方々からのリクエストに応じて撮影機能を磨き抜き、AFスーパーフィールドカメラの独自性をさらに極めました。超望遠レンズでの撮影や超接写撮影などに威力を発揮するミラーアップ機能や、カメラの機能をカスタマイズできるペンタックスファンクションの装備をはじめ、撮影データ写し込み機能の大幅な拡張、よりきめ細かな制御を可能にするオートブラケット設定などにいたるまで、撮るこだわりに応える撮影機能がいちだんと多彩に充実。その機動性で、その操作性で、6×4.5判ならではの描写力を、もっと意のままに。作品を撮る、あなたにふさわしい選択です。*レンズ交換式中判一眼レフにおいて。



645NII

ボディ希望小売価格(税別) 310,000円
FA645 75mm F2.8付希望小売価格(税別) 370,000円

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)

この商品のカタログはペンタックスのホームページでご覧いただけます。http://www.pentax.co.jp/

※製品に関するお問い合わせはお客様相談センター(0570-001313)へお電話ください。

カメラもメガネもペンタックス

そして、645NIIへ。



AUTOFOCUS
SUPER FIELD CAMERA
II

ケース・バイ・ケースでフィルムも選びましょう

宵闇にくっきりと浮かび上がる鮮やかな夜景。そんな写真を撮る場合には、フィルムも慎重に選びたいもの。鮮やかな低感度フィルムでじっくり撮るか、僅かな光に反応するのでブレにも強い高感度フィルムで狙うか、状況に応じて選んでください。



■コダックエクタクローム
ダイナ ハイカラー100

あざやかな色合いを再現しながら、ディテールまで鋭く表現、くっきり鮮明に被写体を繊細描写します。さまざまな自然の光の変化に対応。

メーカー希望小売価格
24枚撮り 720円
36枚撮り 980円



■フジクローム プロビア 100F

クリアな描写力と確かなシャープネス、鮮やかな色再現性を実現。光量の少ないシーンでも微妙な雰囲気や再現。手ブレにも強いフィルムです。

メーカー希望小売価格
24枚撮り 795円
36枚撮り 1,080円



■フジカラー SUPERIA ズームマスター 800

日中の屋外撮影はもとより、室内や夜間でもより美しく写真が撮影できる、ズームカメラに最適な高感度・高画質のフィルム。手ブレ・ピントにも強く、鮮やかに忠実な色再現を実現。

メーカー希望小売価格
24枚撮り 620円
36枚撮り 845円

※掲載の価格には消費税は含まれておりません。





右/島原ファンタジア
冬の花火大会 ■カメラ：ペンタックス6×7
レンズ：タクマー105mm
絞り：f8 シャッタース
ピード：B(約2秒) フィ
ルム：フジクロームベ
ルビア 撮影地：長崎
県小浜町

左/宮地浜奉納花火
大会 ■カメラ：ペン
タックス6×7 レンズ：
SMCペンタックス55mm
絞り：f8半 シャッター
スピード：B(約2秒)
フィルム：フジクローム
ベルビア 撮影地：福
岡県津屋町



秩父夜祭 ■カメラ：ペンタックス6×7 レンズ：SMCペンタックス55mm 絞り：f8
シャッタースピード：B(約2秒) フィルム：フジクロームベルビア 撮影地：埼玉県秩父市

フォトワールド

十人十色

第2回

テクニックを排して 花火本来の姿をとらえる

花火写真家 冨木一馬氏

暗い夜空にパツと咲いてパツと散る、色鮮やかな花火。その瞬間の輝きを、ひたすら追いつけていく写真家がいいます。「花火は『はかなさ』『せつなさ』といった、日本人の美意識の象徴ではないかと思えます」とおっしゃる冨木一馬先生です。今回は、日本でただ一人しかいない花火写真家の冨木先生をご紹介します。

冨木先生は最初から写真家になろうと思っていたわけではありません。当初はファッションデザイナーを目指して専門学校に通い、就職もアパレル関係の会社だったそうです。その間も趣味として写真を撮り続けていきましたが、やがて写真に情熱を傾けるようになり、24歳の時に脱サラをしてフリーの報道カメラマンとして活動するようになり、そんなある日、先生に花火との出会いが訪れます。

報道の現場ですさんだ気持ちを癒してくれたのが花火でした。

31歳の時のこと、先生のもとに某新聞社から、大阪の天神祭りを取材する話が舞い込みました。三日に渡って祭りの行事を撮影する仕事です。その仕事に先生は、特等席から見上げた花火に深い感銘を受けます。「それまで、私にとって花火といえば、人混みの中で遠くから眺めるものでした。ところが、その時に見た花火は頭の真上で開いたのです。その大きさと音に圧倒され



熊野大花火大会 ■カメラ：ペンタックス6×7 レンズ：タクマー75mm
絞り：f11半 シャッタースピード：B(約1秒) フィルム：フジクロームベルビア
撮影地：三重県熊野市

「ある情報誌が花火を特集するので写真を貸してほしいと言ってきました。追従するように、他からも花火の写真を貸してほしいという申し出があったのです」これをきっかけに、先生は報道写真をやめて、花火専門の写真家として生きていく一大決心をします。

花火師さんの作った花火という作品を、そのまま伝えるように心がけています。

当初、先生は多重露光やフィルターワークといったテクニックを駆使して花火を撮影していました。しかし、ある出来事をきっかけに、先生の作品からそうしたテクニックがまったく見られなくなりました。「私の多重露光で撮った写真が、花火大会のポスターに使われ、それを見たお客さんが花火を見に来てくれたのです。ところがそのお客さんから思いがけないクレームがきました。「ポスターにあるような凄い花火なんて見れないじゃないか」というのです。ショックでした。報道という分野で真実を伝え続けてきた私が、花火を撮りながら、花火の真実を伝えていかなかったのですから」その後、先生はテクニックを使わずに、花火の本来の姿を撮影するようになります。「自分の作品を撮ろうという気持ちを抑えて、花火師さんの作った花火という作品を、そのまま伝えるように心がけるようになり、写真が少し地味になりました。ですが、写真と同じ花火を実際に見ることができません。花火はその瞬間を体験してこそ、本当の素晴らしさがわかりますから、真実をそのまま伝えるということが、花火

白秋祭 ■カメラ：ペンタックス6×7 レンズ：SMCペン
タックス55mm 絞り：f8 シャッタースピード：B(約2秒)
フィルム：フジクロームベルビア 撮影地：福岡県柳川市



一生かけて一つでも多くの花火大会を撮影したい。

花火をそのまま伝えていく先生の作品からは、花火の圧倒的なスケールと美しさが迫ってきます。どうしたらこのような花火の写真を撮れるのか、アマチュアに向けてのアドバイスをうかがうと、「花火のことをよく知ることです。特に花火の種類や構造を勉強するとよいと思います。それを知るとシャッターのタイミングがわかってくるんですよ」と教えてくれました。

さえき かずま

1957年山形県鶴岡市出身。現在は大阪府に在住。花火写真家・ハナビストとして日本全国の花火大会を撮影。また、伝統花火の記録にも力を入れている。著書に「日本列島花火紀行」(山と溪谷社)「四季の花火を見に行こう」(講談社)「花火・おもいで夏」(山文社)「日本の花火」(光村推古書院)「幻想花火」(創森出版)がある。また今年の4月には新たに「Fantasia花火・咲いた」(P・I・Eボックス)が発売される。

PROFILE

るほど感動してしまう。花火を撮っている本当によかったと思う瞬間です」。年に100ヶ所前後の花火大会を撮影し続けている冨木先生は「一生かけて一つでも多くの花火大会を撮影したい」と言います。先生のお話からは、自分のテーマを見つけた写真家の幸福感が伝わってきました。

フォトサークルA

●設立：1995年10月1日 ●会員数：22名 ●場所：神奈川県厚木市
●活動：月1回の撮影会、2ヶ月に1回の例会・勉強会、年1回の写真展



フォトサークルAは、7年前に初心者を中心に6名程度で発足しました。

「A」は厚木のA、アマチュアのA、ABCの第一歩のAでもあります。「写真を楽しみながら上達したい」という人たちの集まりで、現在では会員も22名になりました。

会では美しい花を求めて、毎月一回の撮影会と、2ヶ月に一回の例会を行い、その折に同時に勉強会も行っております。また、年一回、厚木市民ギャラリーで写真展を開催しており、撮影会での作品と自主撮影の作品とを展示しています。写真展にはかなりの反響があり、厳しい意見を頂戴したり、また、写真展を機会にフォトサークルAに入会される人もおります。

今後、当サークルは会員の親睦と写真技術の向上を目指して、なお一層のレベルアップに励んでいきたいと思っております。

今後、当サークルは会員の親睦と写真技術の向上を目指して、なお一層のレベルアップに励んでいきたいと思っております。



坂本勝利氏の作品「ああ、春だなあ！」



千田ムツ子氏の作品「風紋」



西山キク江氏の作品「よそゆきの顔」

ぐるーぷ真ドンナ

●設立：2001年4月 ●会員数：5名
●活動：月1回の例会 ●場所：愛媛県今治市



結成から一年、各種月例コンテスト入賞をめざし、月一度の例会、年数回の撮影会を実施しております。

なにか愛媛らしいネーミングにしたいということで、夏目漱石の坊ちゃんにちなみ、「ぐるーぷ真ドンナ」となりました。

先日行われた内子町・大州町撮影散策では、今もまだ残る古い街並みをなんとか一枚の写真に残したいと、必

死でシャッターをきっておりました。

今後も各人の個性を重んじ、楽しみながら品の高い作品づくりをモットーに、活動してゆきたいと考えております。



坂東彰彦氏の作品



神村章浩氏の作品



窪田保孝氏の作品

丸子写友会

●設立：1996年1月15日 ●会員数：20名 ●場所：長野県小県郡丸子町
●活動：月1回の例会と3ヶ月に1回の撮影研究会

当クラブは地域の名所旧跡をバックに女性ポートレートを主体とした撮影研究会を行っています。クラブ結成6年目を迎え、当初10数名だった会員も今では20名になりました。

指導は上田コンタックスクラブの滝澤万親会長にお願いし、撮影技術の研鑽に務めています。また、会員は地元行事などに積極的に参加して、スナップ作品づくりに励んでいます。撮影はすべてリバーサルフィルムを使用していることから、微妙な露出コントロールが作品の善し悪しを決定します。

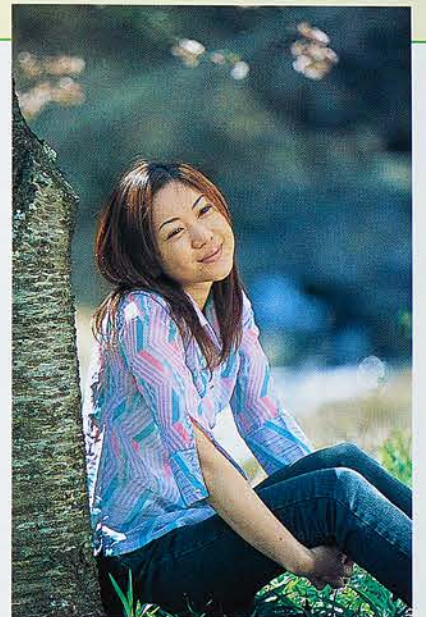
なお、ここに掲載した3枚の写真は、本年4月13日に丸子町内で実施した撮影研究会の作品です。



滝沢敬一氏の作品「爽凜」



滝沢紀雄氏の作品「芽吹き頃」



塩沢 亮氏の作品「包春」

桜写真クラブ

●設立：1998年5月1日 ●会員数：10名 ●場所：三重県四日市市
●活動：月1回の例会と年2回の撮影会と展示会



桜クラブは四日市市桜台の写真好きが集まり、写真技術の向上と会員相互の親睦を目的に発足されました。写真歴数十年のベテランから初心者の方、また女性も加わり、家族的な雰囲気の中で楽しく活動しています。会員の中には各種コンテスト、市美術展に入選する者などいて、年々写真技術も向上しています。年2回の撮影会の他にミニ撮影会と称して、会員相互で連絡を取り合って、日々撮影に出かけております。

今後会員を増やし、更に楽しく活動してゆきたいと思っています。



古尾順子氏の作品「コスモス」



柳谷幸男氏の作品「紅葉」



沢村南美江氏の作品「錦帯橋」

全国写真クラブ紹介

カメラのキタムラでは、今後も全国の写真クラブのみなさまをご紹介していきます。掲載をご希望の方は、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。



ズームカメラには、 ズームマスター800

世界初 第4の感色層搭載 高感度フィルム



フィルム選びのポイント
第4の感色層

速い動きも
ブレずにピタリ

フラッシュなしでも
手ブレが少ない

手前から奥まで
ピントくつきり

暗い場所でも
明るく撮れる

※第4の感色層は従来の感色層だけではできなかった、より忠実な色再現性を表現する技術です。